



実物投影機、指導者用パソコン、学習者用パソコン、学習支援ソフトウェア、無線LAN等であり、賃貸借及び運用保守を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 10/10

### (4) 類似事業の有無

- ・ 無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料及び 賃借料	156,778	プロジェクタ、パソコン、無線LAN等の機器リース デジタル教材
委託料	35,669	プロジェクタ等運用保守
消耗品費	26,130	デジタル指導書
合計	218,577	(リース及び保守分：190,447 デジタル教材分：28,130)

### 決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次教育ビジョン  
基本目標5「学びを支援する安全・安心な教育環境づくり」  
取り組むべき施策(26)「ICTの環境整備と利活用の促進」

### (2) 後年度の財政負担

- ・ 次年度以降ICT機器の賃貸借及び運用保守費として年間190,447千円(長期継続契約R2.3～R8.2)、R8年に同額程度の更新費用が必要となる。
- ・ 整備したICT機器を効果的に活用するためにデジタル教材の整備が必要となる。

### (3) 事業主体及びその妥当性

- ・ 新学習指導要領に「情報活用能力(情報技術を手段として活用する力を含む)の育成」については、言語能力等と並ぶ形で、教科等を越えた全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力として明記された学習活動を支

援するための整備であり、県が主体となって取り組む必要のある事業である。

## 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

### 1 事業の目標と成果

#### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全ての県立高校、県立高等特別支援学校、岐阜聾学校の普通教室および特別教室（一部）にて、ICTを活用できる環境を平成31年度に常設整備する。

#### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	達成率
① 教室ICT環境の整備率	0%	100%	100%	100%	100%	%

#### ○指標を設定することができない場合の理由

--

#### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> <li>ICT機器の賃貸借及び維持運用管理を行った。</li> </ul>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	次世代を担う児童生徒の「学びのスタイル」が変わる取り組みであり、必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	全ての県立高校の普通教室において、同じICT環境で教育を提供できている。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	県が統一して保守契約を行うことで、学校の管理負担を軽減でき、授業の専念できる。

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項                  整備したICT機器を効果的に効率的に使用するため、デジタルコンテンツの整備・充実や教員研修を行い教員の資質・能力の向上を図る必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか                  整備したICT機器を有効に活用し、より深い学びにつなげるため、教材のデジタル化の進捗に合わせて、デジタル教材の整備を進めていく必要がある。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	